



こんにちは 日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎ 075 - 432 - 3261 2017年9月①号

<議会報告>

京都市緑化審議会が開催され、京都市長から諮問された「大宮交通公園のあり方」について審議を行い、8月25日に答申を提出しました。

答申は「再整備のコンセプトとして、京都市唯一の交通公園として、**楽しみながら交通に関する知識や正しい交通ルールを学べる公園**の位置づけは継承する。北消防署の移転を契機として、都市公園と消防の機能を一体化させ、防災機能を強化するとともに、安心・安全を守るオープンスペースを確保し、都市機能の向上を図る。特徴のある地形を生かして回遊性を確保し、史跡的価値の高い御土居やくつろぎのある芝生広場、開かれた消防施設などを効果的につなぎ活用することで、いこいと安らぎ、楽しさを感じられる空間づくりを目指す」というものです。

審議会では、公園面積が3000㎡も削られることの問題について意見が出されたのに、そのことは触れられていません。審議会が始まる前に『大宮交通公園をよくする会』の皆さんが、北消防署の移転による問題を指摘したビラを配布されましたが、審議会では会長がこのビラの取り扱いについて、最初に発言されたところ、建設局は市民意見募集の期間は終わっているのでは、扱わないと回答しました。しかし、審議委員の方が読まれたということは良かったと思います。審議会で、委員から反対意見の主な理由を尋ねられ、建設局は「**公園面積が減ること**」と回答せざるを得ず、公園を管理する局として、何とも情けない回答をしました。

長年の運動実る！

就学援助・入学準備金の前倒し支給が実現！

生活保護及び要保護世帯を対象にした就学援助制度は低所得家庭に対しての学用品や給食費用を援助するもので、大変大切な制度です。課題となっていたのは、入学準備金が準備する必要な時期に支給されていなかったということです。中学校の制服・体操服は約57000円かかり、これにカバンや靴なども含めたら、多額のお金が必要となります。後で給付でなく、入学前の給付は切実な要望でした。

9月の京都市会に補正予算として必要な経費が提案されます。

長年の運動と議会での論戦にやっと教育委員会が、対応しました。

引き続き、中学校の全員制給食や30人学級の実現に向けて、頑張りましょう。



つぶやき：夏の学び

夏は、議会の委員会や共産党議員団の他都市調査、研修会等があり、参加させていただき、たくさんの方を学ぶ機会となりました。

とりわけ、生活保護問題議員研修会では、国民全体の貧困化が進む中で、子どもの貧困対策は緊急課題だと実感しました。重大なことは、子どもの貧困が隠れていて、見えにくい実態をいかに可視化し、対策を進めるかということです。その根底に女性の貧困が根強くあることも、重要な課題だと思いました。引き続き、実態把握に努め、積極的な提案ができるよう頑張りたいと思います。



京都市緑化審議会開催前に、会場前でビラを配る「大宮交通公園をよくする会」の皆さん

学校現場の実態

アンケート

先日、久々に親友の息子さんに合った。中学校の社会科教師になっておられ、子ども達と向き合い、授業に取り組む様子を聞いて、とても頼もしく感じました。バスケット部の顧問もされており、かなり、忙しい毎日を送っておられる。

政府が打ち出している「働き方改革」について、とにかく、人を増やしてほしい！とのこと。超過勤務の状況は記録しておく必要があると話す。朝7時10分に部活の朝練習から出勤し、帰りはいつも21時頃になる。毎日同じだから付ける必要がない」と言います。

教師の場合、超過勤務代が出るわけではありません。だから、つけてもすぐには自分に何か返って来るとは思わない。厳しい教師の働き方の現状は、教育委員会もわかってはいるはずだという思いになるようです。しかし、これまでも過労死でなくなった労働者の裁判などで、決め手になるのは、労働時間です。手帳に出勤・退社時間だけをメモするだけでも重要だと話しました。

彼が働く自治体は中学校給食が近々開始されます。しかし、それも素直に喜べない現状があるとのこと、子どもの食を保障することはわかるが、中学校の教師は食育教育をしたことがないことや、今でも休憩時間がないのに、さらに拘束される。学習時間数の調整で負担が増すなど、学校現場の実態は深刻だと痛感しました。

現場の声を聞くことは本当に大事です。

